

税の滞納

徴収率向上を図れ

町独自で法的対応をとる



にしむら まさのぶ 議員
西村 将伸

などの徴収は平成20年度から設置した租税債権管理機構への委託とともに、町独自で法的対応をとるなどとして、鋭意、徴収努力をしている。

問 法的対応の前に、滞納金の徴収といった難しい話は、

滞納者を訪問し直接顔を見て納付相談をすることが肝心であり、こうした全庁的な取り組みの姿勢が求められるのではないかと。

答 米津 税務課長

徴収率の向上は今の社会情勢を考えると大変厳しい状況にあると思うが、今後も懸念されるこの課題にどう対応しているか。

答 植田 副町長

滞納未収金の問題は、不公平な状況を放置することになり、行政に対する信頼を損なうことになる。町税や国保税

産業振興

特産品開発の

現状と今後

第3セクター化 に取組中

問 特産品開発協議会で黒糖

やラッキョウの商品開発、販売を努力しているが、これまでの実績と現状、また生産販売組織の第3セクター化への取り組みを問う。

答 森下 産業推進室長

昨年度実績はラッキョウ漬、黒糖が売上合計950万4千円。現状では、販売組織の第3セクター化はリーダーが不在のままであるが、今後、具体的な運営組織形態と経営計画の策定に向け作業を進めている。

道路整備

安全対策に

設置基準を

道路パトロール の強化

問 中山間地域の町道は、拡

幅工事をするにしても多額の費用と期間を要する箇所が多い。せめて危険箇所へのガードレールや白線の設置、危険表示バーなどの設置基準を設けて安全対策の強化を図るべきではないか。

例として、町道小黒ノ川・中ノ川線と中角・熊井線への対策を問う。

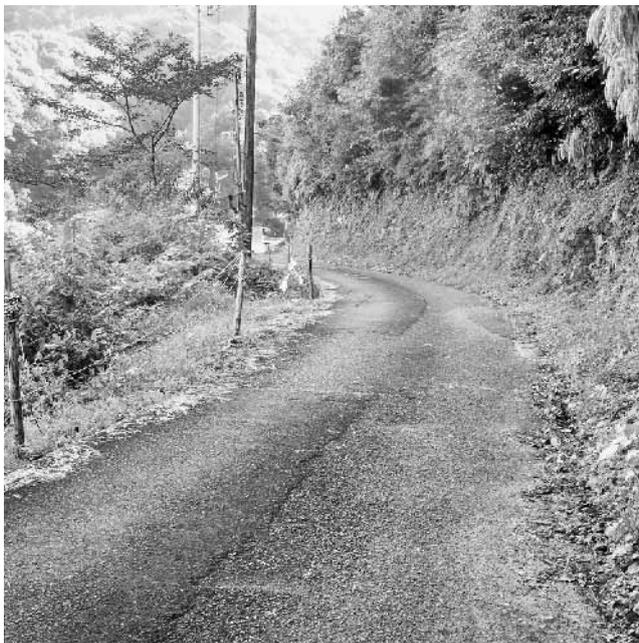
答 森田 建設課長

町内には未改良箇所が数多くあり、十分な安全対策がとれていないのが現状。危険個

所へのガードレール設置、区画線等の設置基準は特に設けていないが道路パトロールを強化して、緊急度の高いところから順次、安全対策を進めたい。

町道小黒ノ川・中ノ川線については白線の設置、樹木枝の伐採を今年度中に実施したい。

中角・熊井線については現場も十分承知している。再度、現地調査を行い、対応を考えたい。



町道中角熊井線